

2022年度

環境経営レポート



期間：2022年10月～2023年9月

株式会社 トクナガエンジニアリング

発行日：2023年11月1日
改訂日：2023年12月22日

I. ごあいさつ

当社は昭和59年より地域密着型の測量設計コンサルタントとして、地元の皆様にご支援を頂き発展して参りました。

近年地球規模での温暖化や廃棄物の問題が増加しています。地球環境があつて衣食住が成立ち、その上に経済活動が行われています。

当社ではエコアクション21の登録認証を受け環境経営システムを構築・運用することにより全社員、個々の環境に対する意識を高め、習慣として環境負荷の低減活動を図れるよう宣言します。

環 境 経 営 方 針

<環境経営理念>

当社は、建設コンサルタント業を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

従業員一丸となって継続的に環境経営の改善に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
 - 2 . 二酸化炭素排出量の削減に努めます。(電気、ガソリン、軽油)
 - 3 . 廃棄物の削減に努めます。
 - 4 . 水使用量の削減に努めます。
 - 5 . 環境に配慮した設計に努めます。
- ・ この環境経営方針は、全従業員に周知します。

制定日：2018年6月30日

改定日：2023年2月15日

代表取締役社長 徳永 盛光

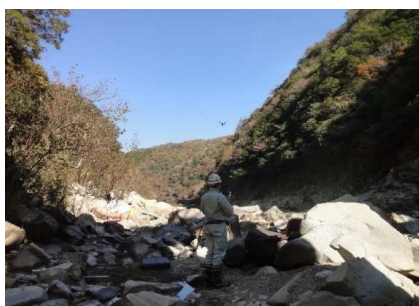
Ⅱ. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社トクナガエンジニアリング 代表取締役社長 徳永 盛光
- (2) 所在地
本 社 〒652-0831 兵庫県神戸市兵庫区七宮町2丁目2-23
和田山支店 〒669-5242 兵庫県朝来市和田山町宮田887番1号
姫路支店 〒671-2216 兵庫県姫路市飾西497番1号
大阪支店 〒553-0006 大阪府大阪市福島区吉野3丁目27-14 東亜ビル405
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名・連絡先
責任者 専務取締役 徳永 和訓 TEL : 078-651-3136
担当者 本社総務部 根宜 孝行 FAX : 078-651-3353
E-mail : tokunaga@t-sp.co.jp
- (4) 事業内容
建設関連コンサルタント業務(設計・測量・調査・人材派遣)
- (5) 事業の規模
売上高 87,703万円(2022年度)
- | | 本社 | 和田山支店 | 姫路支店 | 大阪支店 | 人材派遣先 | 合計 |
|-------|------|-------|------|------|-------|------|
| 従業員 | 52名 | 0名 | 0名 | 0名 | 17名 | 69名 |
| 延べ床面積 | 597㎡ | 8㎡ | 53㎡ | 41㎡ | | 699㎡ |
- エコアクション21対象従業員(本社)52名、対象外人材派遣先17名
- (6) 事業年度 10月～翌年9月

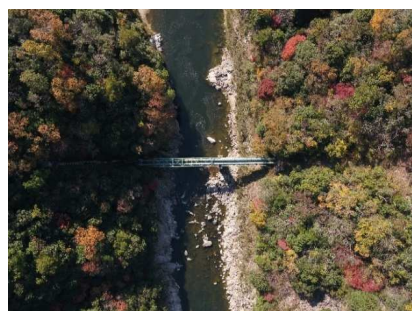
Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

登録組織名 : 株式会社トクナガエンジニアリング
対象事業所 : 本社 和田山支店 姫路支店 大阪支店
活 動 : 建設関連コンサルタント業務(設計・測量・調査・人材派遣)

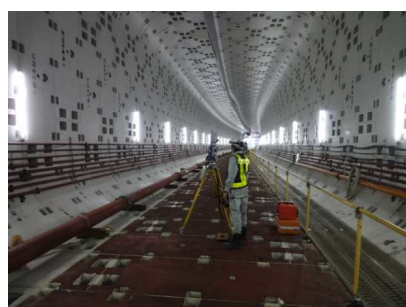
Ⅳ. 事業や製品(商品)の紹介



UAV(ドローン)による測量状況



UAV(ドローン)による撮影写真

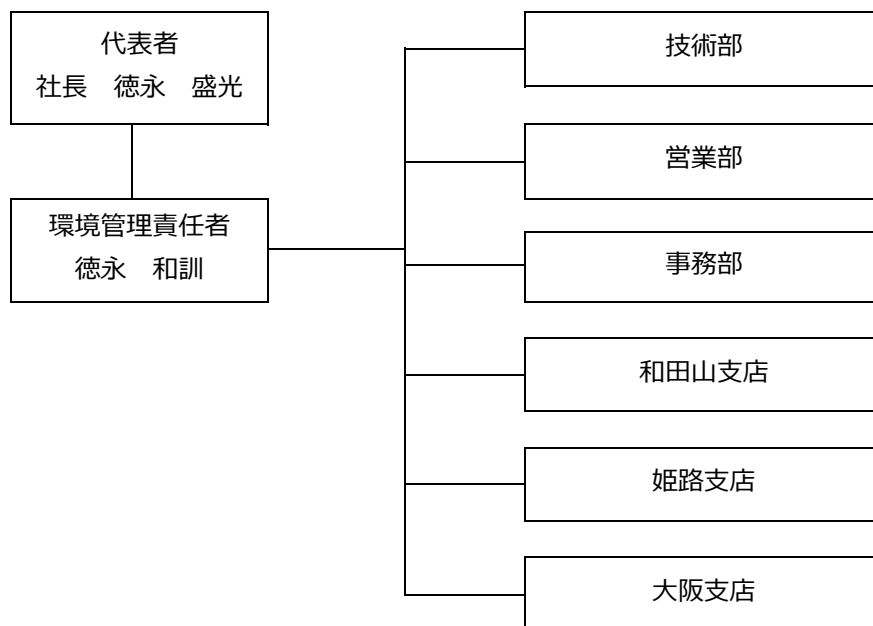


オートジャイロステーションによる測量状況



レザースキャナーによる測量状況

V.環境経営組織図及び役割・責任・権限表



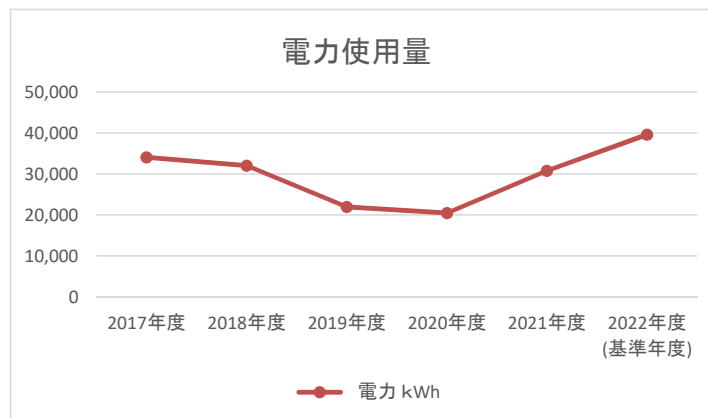
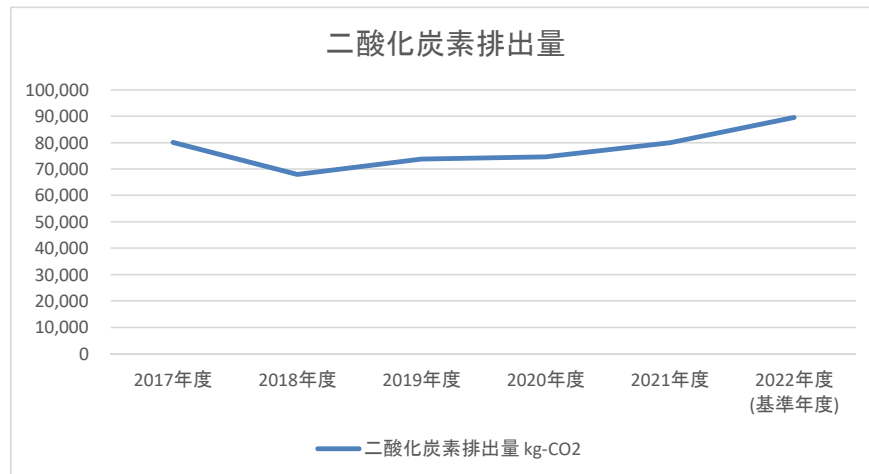
	役割・責任・権限
代表者（社長） 徳永 盛光	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者 徳永 和訓	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
事務部	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

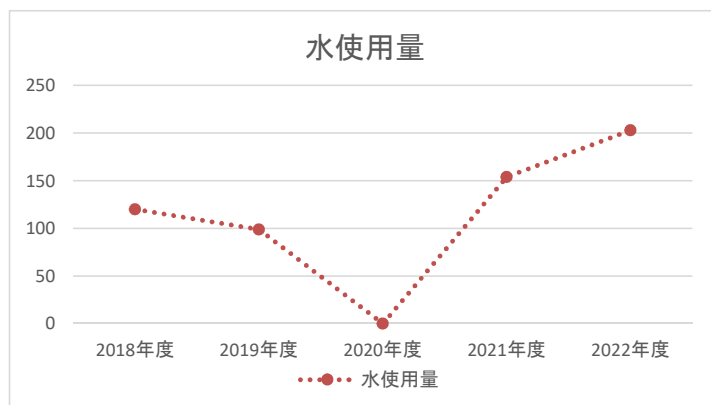
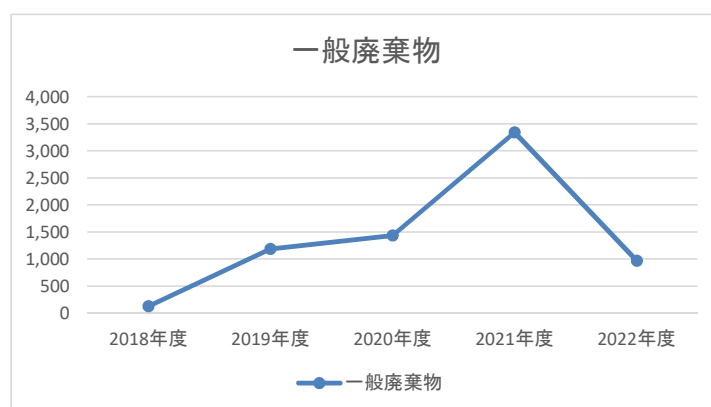
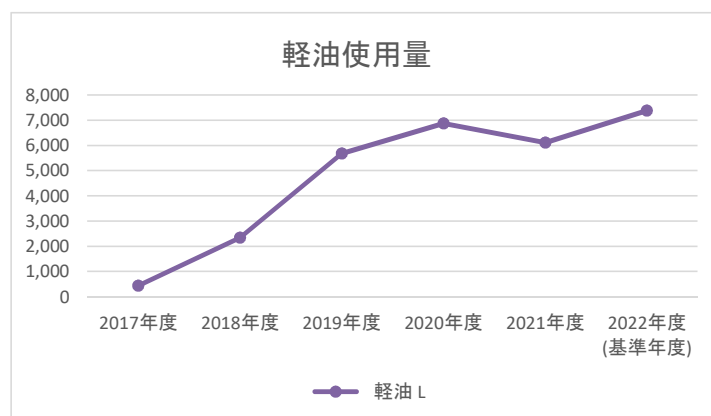
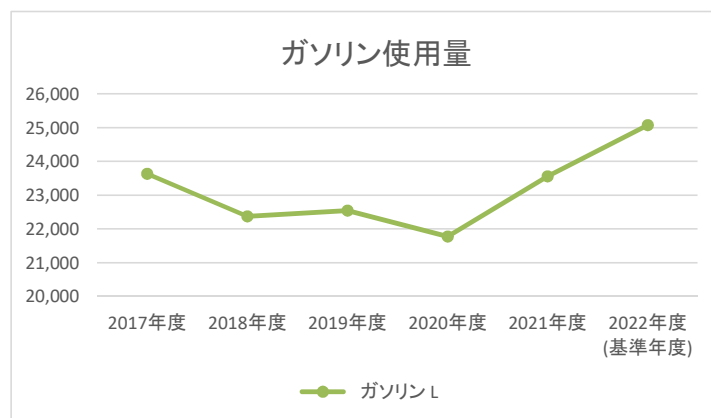
Ⅲ. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (基準年度)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	80,068	67,884	73,771	74,608	79,996	89,534
電力	kWh	34,059	32,019	21,965	20,525	30,793	39,594
ガソリン	L	23,632	22,376	22,539	21,774	23,555	25,077
軽油	L	435	2,331	5,678	6,864	6,113	7,380
廃棄物排出量							
一般廃棄物	kg	実績不明	129	1,183	1,435	3,338	964
産業廃棄物	t	0	0	0	0	0	
水使用量	m ³	115	120	99	不明(※2)	154	203

※1 化学物質は使用していない。

※2 事務所建替のため移転した仮事務所の期間（2020年10～12月）は賃料に含まれていたため、不明





IV. 環境目標及びその実績

(1) 中期目標

年 度 項 目		2017年度 基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	80,068	79,267	78,466	77,958	77,158	76,357	75,557
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %	△ 5 %	△ 6 %
電力使用量 削減	kWh	34,059	33,718	33,378	33,037	32,697	32,356	32,015
	kg-CO ₂	10,592	10,486	10,381	10,275	10,169	10,063	9,957
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %	△ 5 %	△ 6 %
ガソリン 使用量削減	L	23,632	23,396	23,159	22,923	22,687	22,450	22,214
	kg-CO ₂	54,826	54,278	53,730	53,181	52,633	52,085	51,537
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %	△ 5 %	△ 6 %
軽油	L	5,678	431	426	5,621	5,564	5,508	5,451
	kg-CO ₂	14,649	1,112	1,099	14,502	14,356	14,210	14,063
	対基準	(2019年度)	△ 1 %	△ 2 %	△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %
II. 廃棄物排出量								
一般廃棄物 削減	kg	実績不明	実績収集	実績収集	1,171	1,159	1,148	1,136
	対基準		(140kg)	(1,183kg)	△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %
III. 水使用量 削減	m ³	115	114	113	112	110	109	108
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %	△ 5 %	△ 6 %
iv. 製品への環境配慮 (環境に配慮した設計)	件	2	3	4	4	4	4	4
	対基準	2	-	-	-	-	-	-

※軽油の2020年度以降の目標は基準を2019年度使用量に変更して改訂

注1) 環境省2023年1月24日発表の「電気事業者排出係数-R3年度実績-」の関西電力株式会社
調整後排出係数0.311kg-CO₂/kWh (メニユーF) を使用して二酸化炭素排出量を算出

(参考) 中期目標 (2022年度基準年度)

年 度 項 目		2022年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	89,534	88,639	87,743	86,848	85,953	85,057	84,162
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %	△ 5 %	△ 6 %
電力使用量 削減	kWh	39,594	39,198	38,802	38,406	38,010	37,614	37,218
	kg-CO ₂	12,314	12,191	12,067	11,944	11,821	11,698	11,575
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %	△ 5 %	△ 6 %
ガソリン 使用量削減	L	25,077	24,827	24,576	24,325	24,074	23,824	23,573
	kg-CO ₂	58,180	57,598	57,016	56,434	55,853	55,271	54,689
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %	△ 5 %	△ 6 %
軽油 使用量削減	L	7,380	7,306	7,232	7,159	7,085	7,011	6,937
	kg-CO ₂	19,041	18,850	18,660	18,469	18,279	18,089	17,898
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %	△ 5 %	△ 6 %
II. 廃棄物排出量								
一般廃棄物 削減	kg	964	954	945	935	925	916	906
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %	△ 5 %	△ 6 %
III. 水使用量 削減	m ³	203	201	199	197	195	193	191
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %	△ 5 %	△ 6 %
iv. 製品への環境配慮 (環境に配慮した設計)	件	2	2	2	3	3	4	4
	対基準	2	-	-	-	-	-	-

注1) 環境省2023年1月24日発表の「電気事業者排出係数-R3年度実績-」の関西電力株式会社
調整後排出係数0.311kg-CO₂/kWh (メニューF) を使用して二酸化炭素排出量を算出

(2) 対象期間の実績

年 度 項 目		基準	対象期間期間における実績 (2022年10月～2023年9月)			
		2017年度 (10月～9月)	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	80,068	76,357	89,534	85%	×
	対基準			12%		
電力 使用量削減	kWh	34,059	32,356	39,594	82%	×
	kg-CO ₂	10,592	10,063	12,314		
	対基準		△5%	16%		
ガソリン 使用量削減	L	23,632	22,450	25,077	90%	×
	kg-CO ₂	54,826	52,085	58,180		
	対基準		△5%	6%		
軽油 使用量削減	L	5,678	5,508	7,380	75%	×
	kg-CO ₂	14,649	14,210	19,041		
	対基準	(2019年度)	△3%	30%		
II. 廃棄物排出量						
一般廃棄物削減 (再資源化ごみ以外)	kg	1,183	1,148	964	119%	○
	対基準		△3%	△19%		
Ⅲ. 水使用量 削減	m ³	115.0	109.3	203.0	54%	×
	対基準		△5%	77%		
IV. 化学物質の 適正管理						
iv. 製品への環境配慮 (環境に配慮した設計)	件	2	4	0	-	×
	対基準					

注) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

※一般廃棄物削減の取組対象は、可燃・不燃ごみ(再資源ごみは対象外)

V. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組結果	取組状況	評価結果と次年度の環境経営計画（取組内容）
二酸化炭素排出量の削減 （目標未達成）		
・下記の通り。	△	新社屋移転後、1年を通じての初年度となったこと、売上及び人員が増加したことにより、すべての項目で増加、トータルで目標達成できなかった
電力使用量の削減 （目標未達成）		
・空調温度の適正化（冷房28℃暖房20℃）	△	猛暑もあり、夏場の設定温度が順守できない日が続いた
・サーキュレーターの設置	◎	遵守されている
・不要照明の消灯	△	消し忘れがあり、引き続き周知徹底を図る
・ノー残業デイの実施	○	繁忙期の偏りはあるが、ほぼ遵守されている
ガソリン使用量の削減 （目標未達成）		
・不要なアイドリングストップ	○	積極的に実施しているが、引き続き周知・指導を実施する
・エコドライブ	○	教育等を通じ、周知徹底を図る
・効率的な移動	△	ルートの改善、渋滞回避等による効率化を今後行う
・適切な車両の整備	○	継続して、実施する
軽油使用量の削減 （目標未達成）		
・不要なアイドリングストップ	○	積極的に実施しているが、引き続き周知・指導を実施する
・エコドライブ	○	教育等を通じ、周知徹底を図る
・適切な車両の整備	○	継続して、実施する
一般廃棄物の削減 （目標達成）		
・分別によるリサイクルの推進	○	ほぼ遵守されている
・資料の簡素化	○	ほぼ遵守されている
・次年度取組計画		引き続き分別、裏紙再利用等を行い、ゴミのスリム化を目指す
水使用量の削減 （目標未達成）		
・節水の周知徹底	△	引き続き周知徹底を図る
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	遵守されている
・清掃時・手洗い時の節水	△	引き続き周知徹底を図る
環境に配慮した設計 （目標未達成）		
・生態系維持を考慮した設計を行う	×	今年度も案件が無かったため未達成
・ドローン使用による業務効率化	○	積極的に活用している

Ⅵ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者（家電販売店）への引き渡し	遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正な事業者（引取登録事業者）への引き渡し	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守
消防法	（防火対象物）防火管理者の届出、消防計画の作成、避難訓練の実施、消火設備・火災警報設備の点検整備、避難設備の維持	遵守

なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

Ⅶ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

・一年を通じて新社屋での業務となったため、今年度（2022年度）を基準とする ・新社屋での業務、人員増加、売上高増加の影響を受け、一般廃棄物を除く項目に対して、未達成となった ・各使用量の増加に対して削減を図りつつ、様々な原材料費高騰による電気、ガソリン等の値上げが進んでおり、環境経営活動が今まで以上に重要と考え、目標達成に向けて活動を進めていく		
環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり
変更内容：2022年度を基準とする（新社屋・人員増加による）		

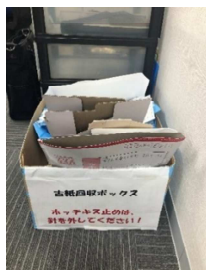
2023年11月1日
代表取締役社長 徳永 盛光

Ⅷ. 環境活動の紹介例（オプション）

<ごみの分別・縮小・リサイクル>



ごみの分別



古紙回収ボックス



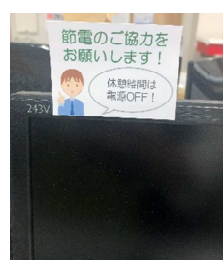
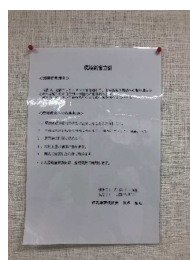
ペットボトル・缶の処理



<消防訓練>



<その他掲示>



<本社 新社屋>

